

～未来につなげる、人をつなげる～

川島地域のアクションプラン



0. 未来につなげるために
1. 川島地域の現在と将来に向けた検討
2. これからの川島地域の活性化に向けて
3. 実現化に向けて
4. 地域活性に向けた取り組み

平成 26 年 3 月策定
平成 27 年 3 月更新

川島地域のまちづくり検討会

0. 未来につなげるために

(1) プラン策定の背景と経緯

平成 25 年 4 月のくぬぎ台小学校閉校により、若い世代や子育て世代のさらなる減少など少子高齢化の進展が懸念される中、小学校跡地活用を契機とした、様々な地域課題の解決、地域活性化に向けた取り組みの検討を進めてきました。

地域の課題解決や活性化は、実効性や実現性を高めるためにも、その地域に関わる住民等が主体的に取り組んでいくことが大切です。そのためにも、これらの検討は、自治会や旧くぬぎ台小学校跡地の利用者など広範囲にわたる地域住民と、関連する事業者、行政による体制で行って来ました。

■ 検討会の様子



(2) アクションプランとは

こうした検討を通じて、地域の課題解決とともに、地域の様々な資源を活かし、活力あるまちづくりの実現に向けた取り組みや体制等について、このアクションプランとして取りまとめました。

活力あるまちづくりは、地域に関わる人々が目指す地域の将来像を共有化し、その実現に向けて様々な活動を工夫し協働で行っていくことが大切です。そのため、地域の現状や課題を踏まえ、課題解決や活力向上を目指していくための長期的な目標や活動内容を示しています。

これらを実現していくためには、地域に関わる人々が参画しながら取り組んでいくこと、行政や事業者、専門家など様々な人々と互いに支えあい協力しながら取り組んでいくことが大切です。そのための仕組み、体制づくりについても示しています。

(3) アクションプランの展開

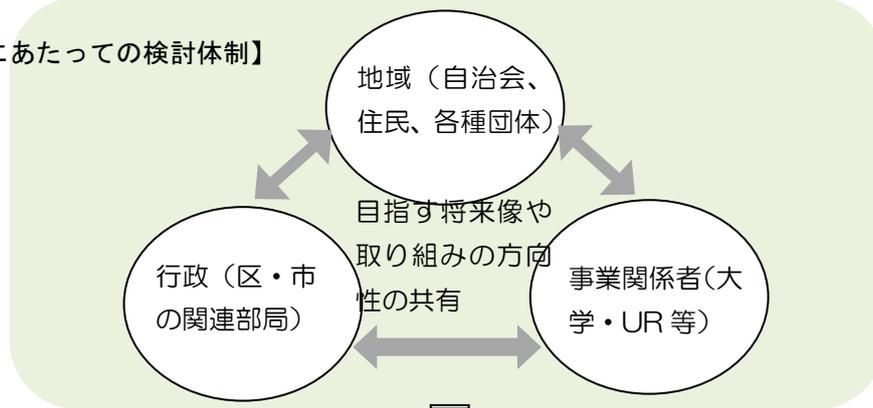
アクションプランは、つくって終わりではなく、その内容を実践し、試行錯誤しつつも軌道に乗せていくことが重要です。そのためにも、参加者の関心・意欲から具体的な活動を創出し、みんなで議論しながら段階的に実現化に取り組んでいきます。

また、プランの内容についても、社会情勢の変化や活動内容の進捗状況などに柔軟に対応し、必要に応じてプランの改善、見直しをするなど、活動の実践とともに成長するプランとしていきます。

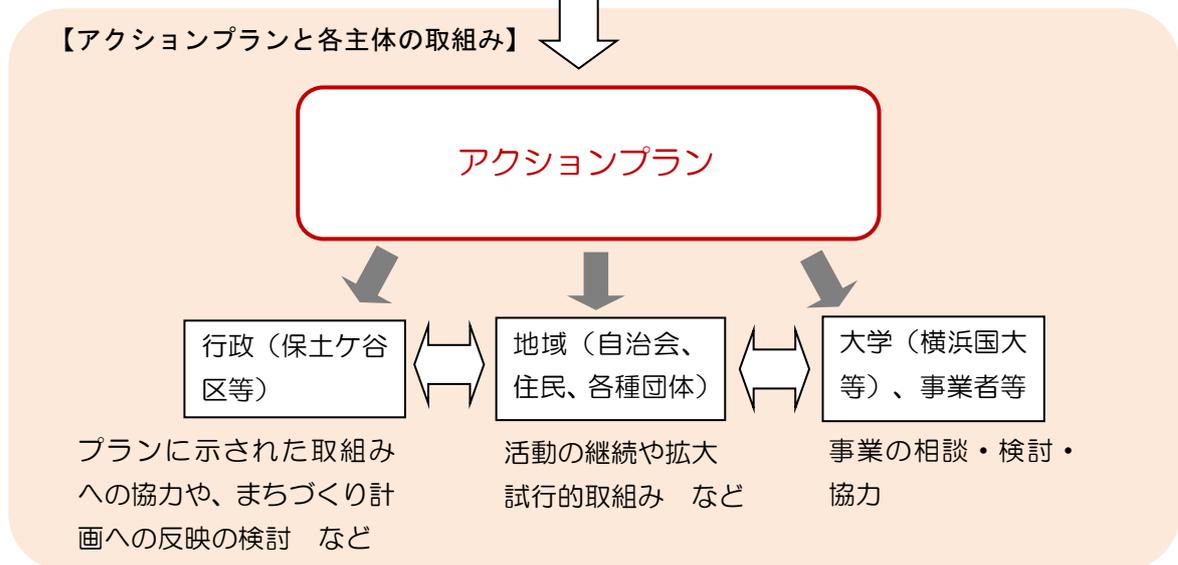
ここでは、実践に向けたスタートアップとして、概ね3か年で取り組んでいくことについて記載しています。

■ 検討体制から実施体制へ

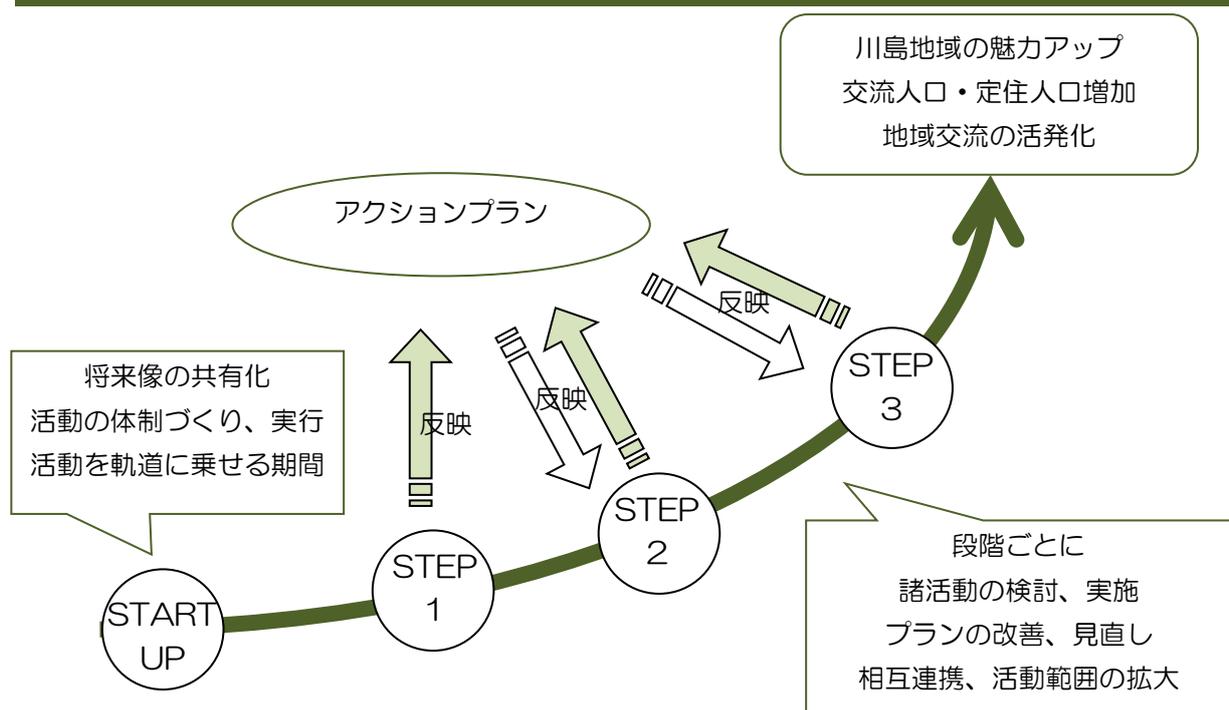
【策定にあたっての検討体制】



【アクションプランと各主体の取組み】



■ 活動とともに成長するアクションプラン



(4) スタートアップと対象地域

検討会では、地域の課題解決や活性化を実現していくため、まず実践のスタートアップとなる具体的な取組みについて検討を行いました。活動の内容については、後述の「3. 実現に向けて」にそれぞれの活動とその主たるメンバーとなる部会として示しています。

地域の課題解決や活性化の取組みの検討は、場所ごとの特徴や課題、多種多様な資源の活用方法、そして対象となる地域の範囲も、活動内容や資源等地域の実情に応じて多岐にわたるものとなりました。

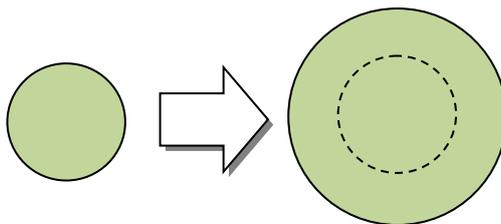
こうした検討を踏まえつつ、まずスタートアップとなる活動とそれによる活性化の対象範囲を設定し、段階的に進め、広く展開していくこととします。

まずはスタートアップとして、これまでの検討会メンバーのいる保土ヶ谷区川島原地区連合会、川島東部連合町内会・第一町内会、旭区笠町内会を含む区域を含む区域を活性化の対象範囲とし、その課題解決や活性化に資する活動を、区や専門家等と協力しながら進めていきます。

ただし、活動は対象範囲内に限定せず、広域的な資源活用や周辺地域にわたる活動なども取り組みながら、対象範囲の地域の課題解決や活力向上につながることを、みんなで協働して考え実践していきます。

【スタートアップ】

保土ヶ谷区川島町を活性化
対象範囲とし、
地域の課題解決や活性化に
資する取り組みを協力し合
いながら進める



【展開、拡充】

活動内容の展開、相互連携や
交流の拡大などに応じて、対
象範囲を拡大しつつ、体制を
強化していく



1. 川島地域の現在と将来に向けた検討

(1) 地域の成り立ちと現在

検討の中心となる保土ヶ谷区川島町は、帷子川沿いの段丘上に位置し、豊かな斜面緑地や市内で唯一の溪谷があるなど、自然環境に恵まれた地域です。

古くから、河川沿いや丘の上には農村集落が点在した地域で、現在でも農地が広く残り、都市近郊の農業地として農業活動が盛んです。

戦後の高度経済成長期に、丘の上の西谷浄水場西部には道路整備が進み、県営住宅や市営住宅、くぬぎ台団地など大規模な住宅団地の建設が進み、地域の人口は急激に増加しました。

■近代以降の略年表

1916年（大正5年）西谷浄水場が建設

1926年（大正15年）神中鉄道（現：相模鉄道）が延伸、西谷駅が開業

1927年（昭和2年）に川島町が誕生、横浜市保土ヶ谷区に編入

1950年（昭和25年）より環状2号線整備開始

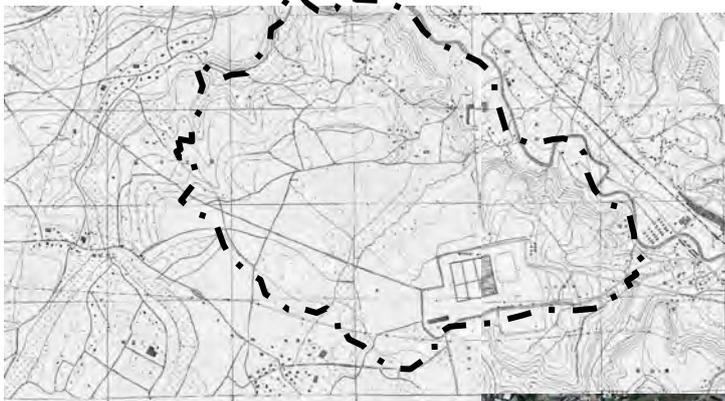
1969年（昭和44年）に保土ヶ谷区から分区、旭区が創設、川島町の一部が西川島町に区分

1970年（昭和45年）より保土ヶ谷バイパス整備着工

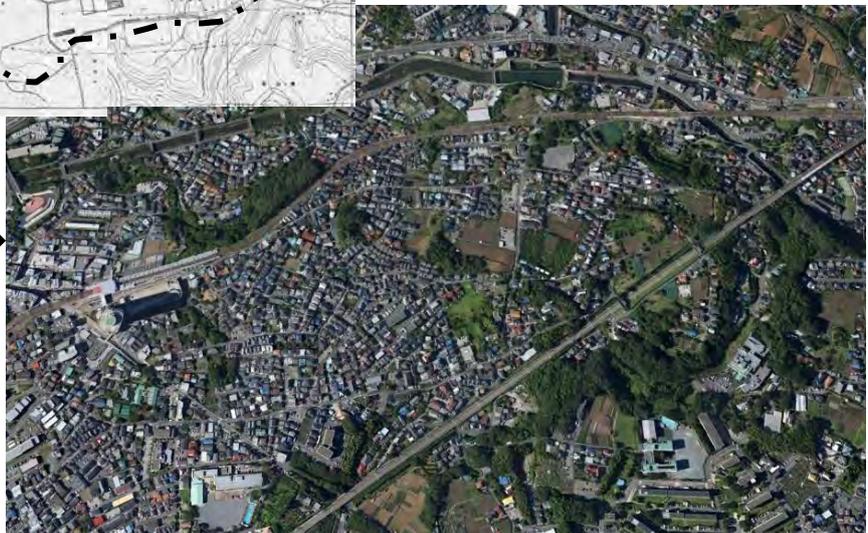
1971年（昭和46年）くぬぎ台団地が開発、同時期にくぬぎ台小学校開校

2001年（平成13年）環状2号線と国道16号線との接続ランプ開通

2004年（平成16年）陣ヶ下溪谷公園開園



昭和初期の保土ヶ谷区川島町



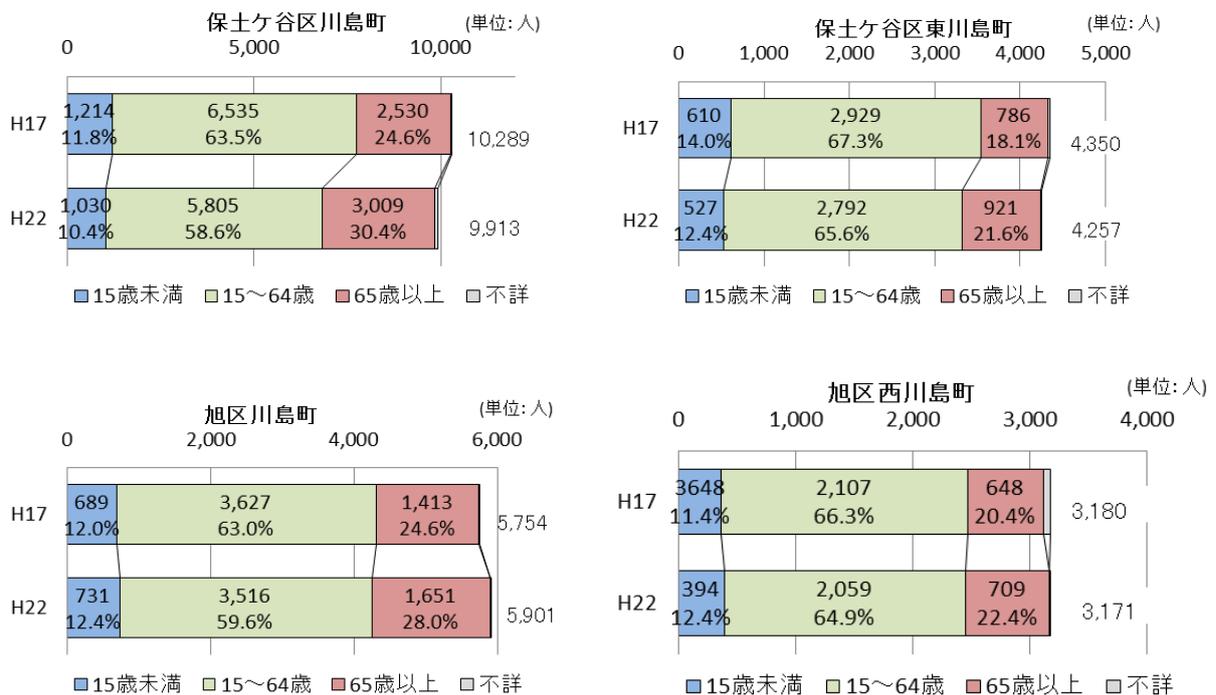
現在の保土ヶ谷区川島町
(Google Earth より)

近年、地域の高齢化、人口減少が進行しており、特に大規模団地における少子高齢化、人口減少が急激に進行しています。

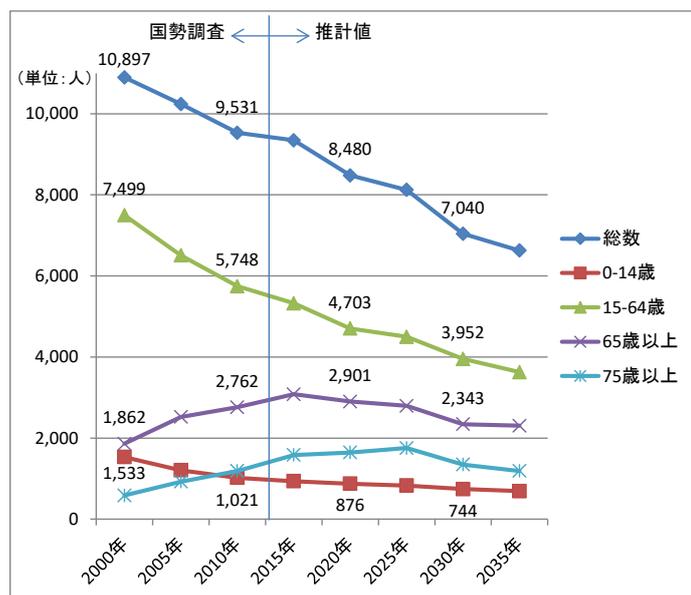
また、将来人口推移をみると、その傾向は顕著にみられます。団地に限らず、人口の減少傾向は全国的にみられ、横浜市の人人口のピークも平成32年頃と予想されています。

旧くぬぎ台小学校の閉校による子育て世代の減少、団地などで進む高齢化などの課題に対して、いかに地域の活力を維持し、子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域としていくか、そして子世代がもどってくる、若い世代を呼び込んでいくための魅力ある地域づくりにより、地域の活力を高めていくか、が重要な検討課題です。

■保土ヶ谷区川島町と周辺地区における年齢別人口推移



■保土ヶ谷区川島町の年齢別将来人口推移



(2) 地域の魅力や資源

地域は、丘の上に位置するため、相鉄西谷駅との高低差や、急な坂道、広い道路がなく自動車の往来が不便、などといった課題があります。

一方で、そうした立地のため、見晴らしの良い場所や、表情ゆたかなまちなみなど、川島地域ならではの魅力的な景観がみられます。また、自動車の通過交通が少ないため安全で静かな暮らしやすい環境であることも大きな特徴です。

検討会においては、地域のまち歩きを行い、課題の点検とあわせて、魅力の再発見、意見交換を行いました。あわせて、発見した魅力となる資源をどう活用していくか、など活発な議論を行い、地域活性に向けた検討につなげてきました。

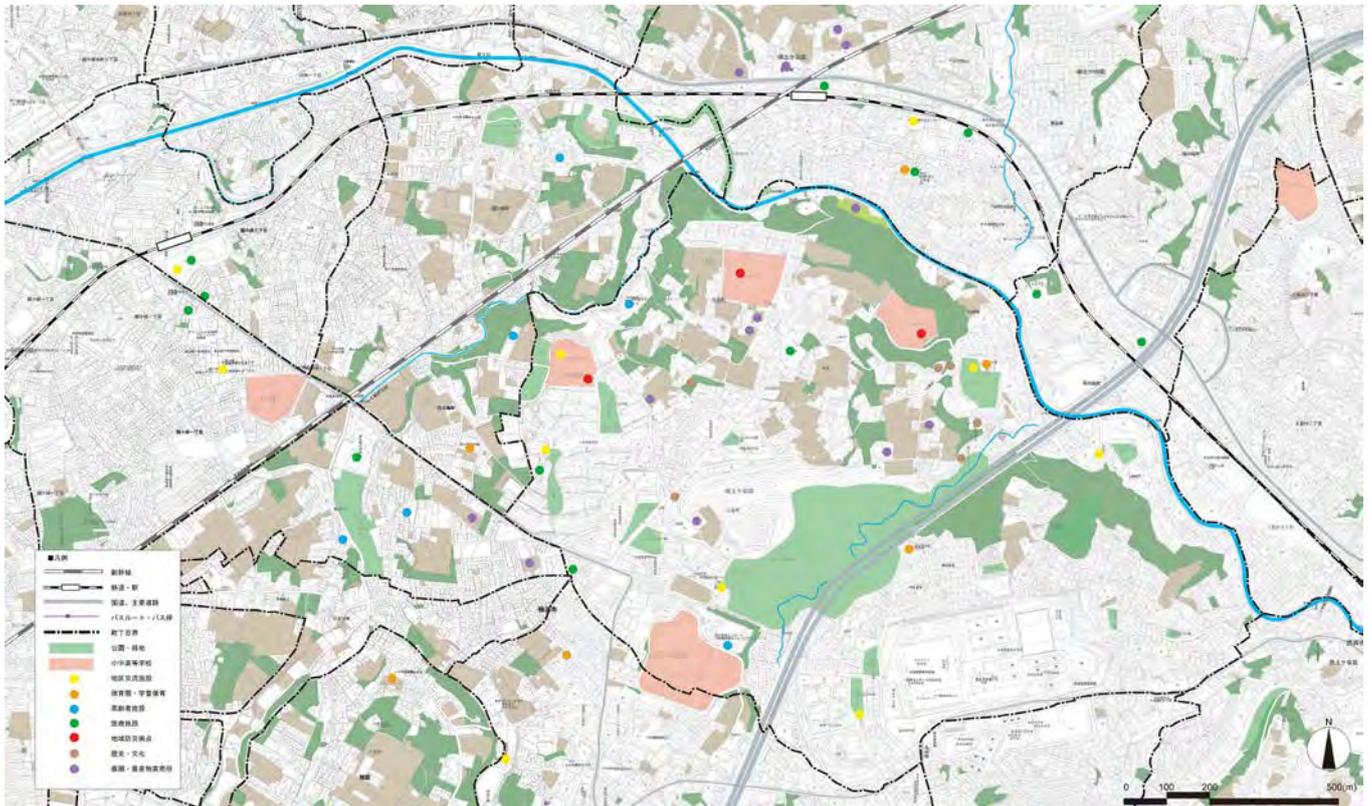
■主な地域の資源

- 斜面林や市内唯一の渓谷を活かした陣ヶ下溪谷公園などの豊かな自然環境
- 都市近郊農地、地場の野菜の販売所など活発な農業環境
- 坂の多いまち
- 緑に囲まれた閑静な住宅地
- ゆとりある団地
- 伝統文化、川島囃子や笠囃子 など

■まち歩きの様子



■地域の魅力資源



(3) 地域の活性化に向けた課題

ここでは、地域が抱える課題や、これから活力を高めるために検討していくべき課題について整理しています。

①少子・高齢化の進展への対応

地域における少子高齢化、人口減少の進展、特に団地内居住者の少子高齢化が顕著であり、今後は子世代とのつながりや、若い世代を呼び込むなど、次の世代を視野に入れた取組みが必要です。

- 豊富な人材を活かしたコミュニティ活動の活性化
- 団地のストックや豊かな緑・農を活かした、快適で住みやすい住環境の改善
- 子どもから高齢者まで多様な世代の交流促進、世代交代
- 高齢者支援など地域ぐるみでのサポートの充実化



②道路基盤、交通利便性の改善

台地の上に位置するため、坂道が多く、また狭い道路も少なくないため、バス交通などの困難な場所があります。これからの高齢化社会に向けて、交通の利便性を高める取り組みの検討が必要です。

- 歩きやすく安全な歩行者空間の確保
- 駅と地域を結ぶバスなど公共交通の充実化の検討
- 坂道を活かした新たな魅力づくり



③旧くぬぎ台小学校跡地の活用の検討

小学校の閉校に伴い、若い世代、子育て世代のさらなる減少が懸念されます。また、地域の防災拠点やコミュニティハウスなど、今ある諸活動の場として継続していくためにも、地域で結束力を高め、活力向上に向けた検討を進めていくことが必要です。

- 現在のコミュニティ活動等機能の維持など地域との関わり方の検討
- かつての子どもたちが集い楽しむ場など、子ども同士や大人と子供のコミュニケーション等の場づくりの検討
- 地域活性の拠点としての活用検討



④団地の再生、活用

くぬぎ台団地をはじめとした大規模な団地があり、開発の経緯の中で道路や公園、小学校など公共施設を整備し、地域の環境づくりに果たしてきた役割があり、現在でもその良好な環境を地域の資源としてとらえ、地域の活力向上に活かしていくことが大切です。

- 豊かな住宅ストック・公共施設・人材を活用したまちづくり活動の展開
- 高齢者の住みよい空間の整備・改修等の検討



⑤地域固有の魅力資源の活用

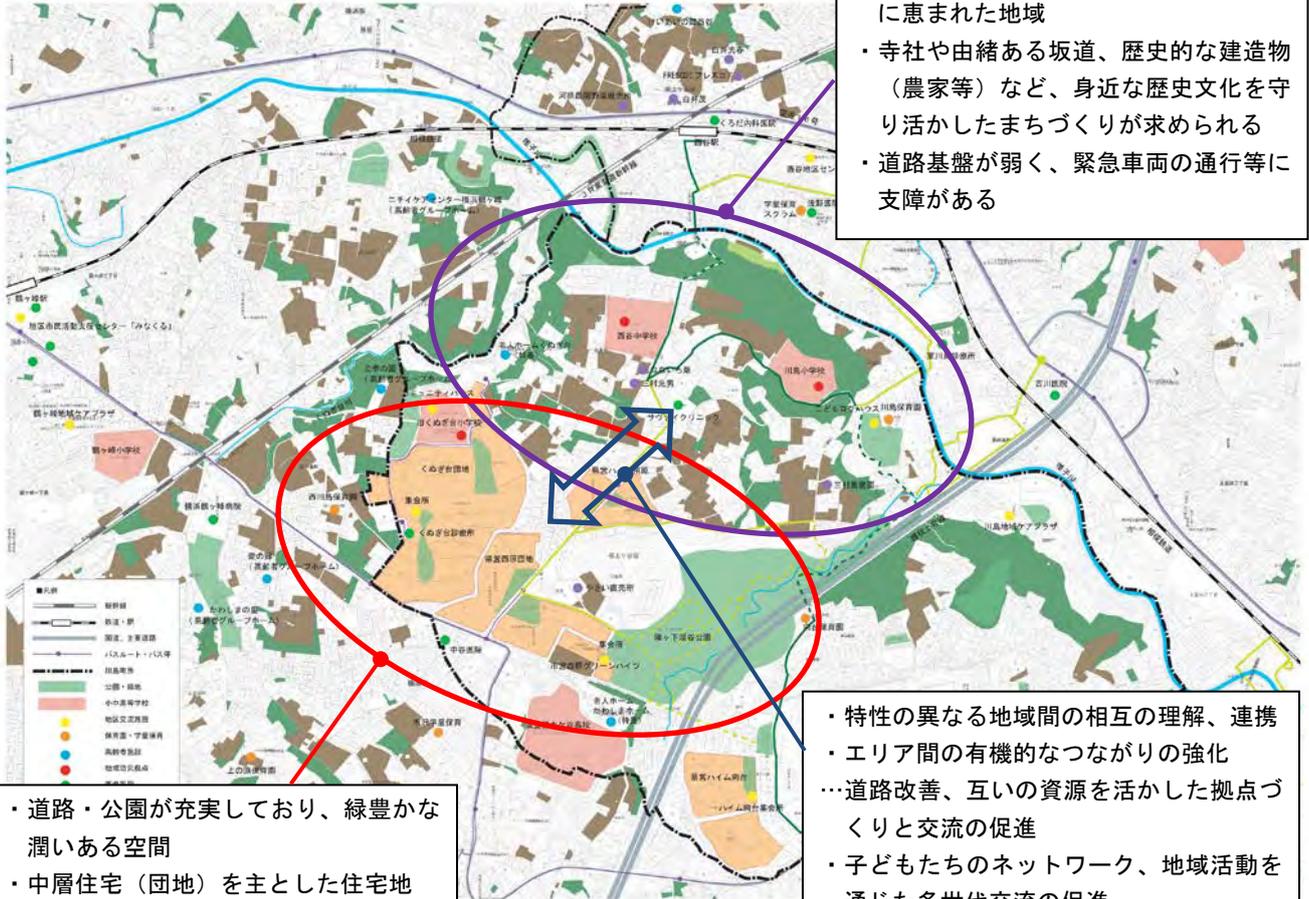
緑や地形などの豊かな自然環境や、歴史、文化など、川島地域には様々な資源があり、地域のみんながその良さを理解し、広く伝えていくこと、そしてそれぞれを地域の魅力として活かしていくことが大切です。

- 地域固有の資源への理解の深化、情報発信
- 資源のネットワークによる地域全体の魅力向上

⑥地域の相互連携

市街地の開発経緯など、まちの成り立ちの違いから、公共施設の整備状況や自然、歴史文化などの資源など、同じ地域でも様々な顔があります。

互いのよさを活かしながら相互の連携を高め、地域の活力に向けて取り組んでいくことが重要です。



- ・ 河川、斜面緑地、農地など自然的環境に恵まれた地域
- ・ 寺社や由緒ある坂道、歴史的な建造物（農家等）など、身近な歴史文化を守り活かしたまちづくりが求められる
- ・ 道路基盤が弱く、緊急車両の通行等に支障がある

- ・ 道路・公園が充実しており、緑豊かな潤いある空間
- ・ 中層住宅（団地）を主とした住宅地
- ・ 少子高齢化が進行し、利便性の向上や生活サービスの充実化が求められる
- ・ 多世代交流などコミュニティ活動の維持・活性化が求められる

- ・ 特性の異なる地域間の相互の理解、連携
- ・ エリア間の有機的なつながりの強化
- …道路改善、互いの資源を活かした拠点づくりと交流の促進
- ・ 子どもたちのネットワーク、地域活動を通じた多世代交流の促進

(4) 地域の活性化、課題解決に向けた検討

地域の様々な課題を解決し、地域の活力向上に向けて具体の検討を行うため、旧くぬぎ台小学校跡地の活用検討を契機に、多様な地域の資源を活かした、より広域的な地域の活性化に向けて検討を進めてきました。この検討には環境未来都市・横浜の取組みの一環として横浜市の関係部署や横浜国立大学なども加わり、多角的な視点での検討となりました。

地域住民が主体となった取り組みとして、当初は、川島原地区連合会のメンバーをコアとしつつ、小学校跡地の利用・関係者や自治会など、関わる人・主体を念頭に、川島東部連合町内会、西谷連合町内会、旭区鶴ヶ峰地区町内会連合会に声をかけ、連合会の相互の理解や交流を深めながら、地域活性化に向けた検討を進めてきました。

■検討会の経緯

第1回 平成25年7月2日	<ol style="list-style-type: none">1. 検討会の目標・進め方について2. 地域の魅力を活かした活性化とは
第2回 平成25年7月31日	<ol style="list-style-type: none">1. 川島地域の魅力と課題、将来像について2. 将来像について—5つの視点から・大学からの提案
第3回 平成25年9月8日	<ol style="list-style-type: none">1. 地域まちあるき2. 地域資源の活用アイデアの洗い出しワークショップ
第4回 平成25年10月12日	<ol style="list-style-type: none">1. 学校跡地見学2. 取組み案の検討ワークショップ
第5回 平成25年11月17日	<ol style="list-style-type: none">1. 具体の取組の検討ワークショップ2. まちづくりの課題検討ワークショップ
第6回 平成26年1月11日	<ol style="list-style-type: none">1. プロジェクト別の実行体制検討ワークショップ2. 連絡調整会議のあり方について
第7回 平成26年2月22日	<ol style="list-style-type: none">1. 「アクションプラン」(たたき台)の目次構成の説明・確認2. これからの活性化対象範囲、活動趣旨、活動体制について3. 部会の活動内容等について
第8回 平成26年3月22日	<ol style="list-style-type: none">1. 「アクションプラン」案の説明・確認2. 部会の活動内容等について

2. これからの川島地域の活性化に向けて

(1) 川島地域が元気になるための基本的考え方

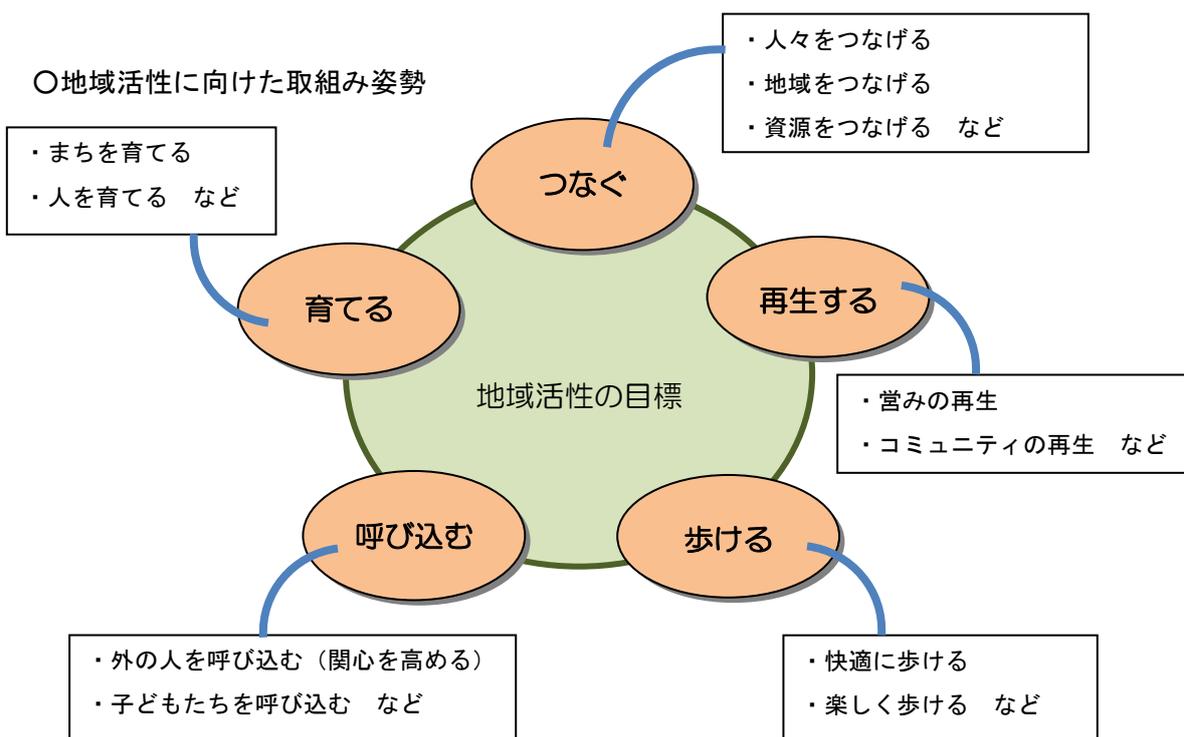
川島地域固有の資源を活用しつつ、多様な活動を活発に行いながら地域の活性化につなげます。

- ①地域の様々な課題を克服しながら、住んでいる人々が、地域に魅力や夢を見だし、愛着や誇りを育み、住む喜びを感じられること
- ②地域の魅力が地域外の人々にも知られて、交流が活発になること
- ③若い世代が移り住んできて、まちが次世代へとつながっていくこと

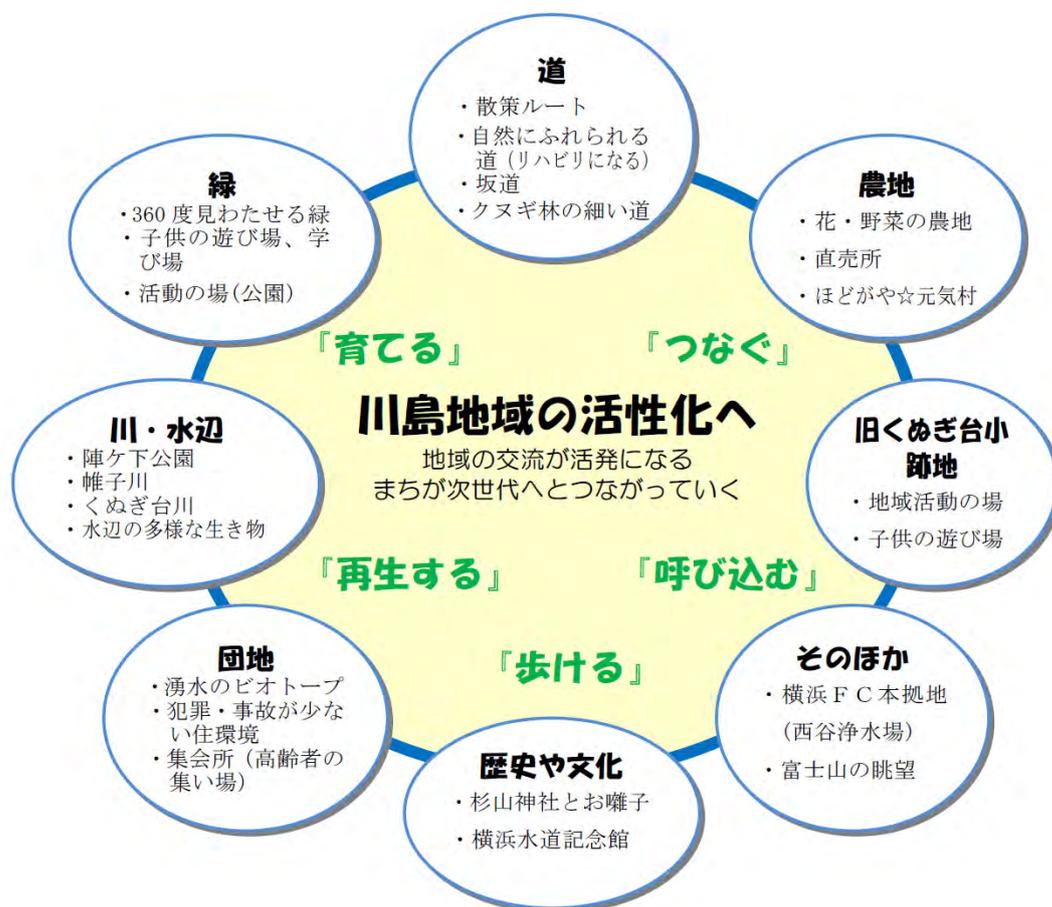
(2) まちづくりの取組み方針

- ① 地域で受け継がれてきた、緑、水辺、農、歴史文化、学校跡地を活かし、育てる
 - ・斜面林や河川の水辺などの自然環境、活発な農業環境、歴史文化など地域固有の資源を大切に、川島地域の魅力づくりを進める。
- ② 大人も子どもも集いともに楽しめる場や活動をつくる
 - ・地域に住み活動する様々な人々がつながり、交流による地域の活力向上を目指す
 - ・大人も子どもも、地域で暮らす居心地がよく、みんなで楽しめる場をつくる
- ③ この地域での暮らしの豊かさを広く知らしめる（『まち自慢』する）
 - ・地域のみんで、川島地域の魅力を知り、地域に住む誇りを育む
 - ・川島らしい魅力をつくり、発信し、地域の交流促進につなげる
- ④ 若い世代を呼び込み、まちを次世代に受け継いでいく
 - ・子世代、若い世代が住みたくなるまちの魅力を育む
 - ・次の世代への引き継いでもらう魅力と活力のあるまちに育てる
- ⑤ これらの活動の前提として、住民の「安全・安心」や「快適な日常生活」のための課題解決にも取り組む。
 - ・みんなの暮らしや生活が活性化するため、道路交通環境の改善に取り組む
 - ・より安全・安心して暮らせるよう、防災関連の取組みを拡充させる
- ⑥ ①～⑤の実現のために、皆で策を考え、提案し、行動する。
 - ・活性化対象範囲の住民、関連団体、関心のある人や事業者など、地域活性に関わるすべての人々が主体となって取り組む

■地域活性に向けたテーマ



■地域の資源を活かした地域活性



3. 実現化に向けて

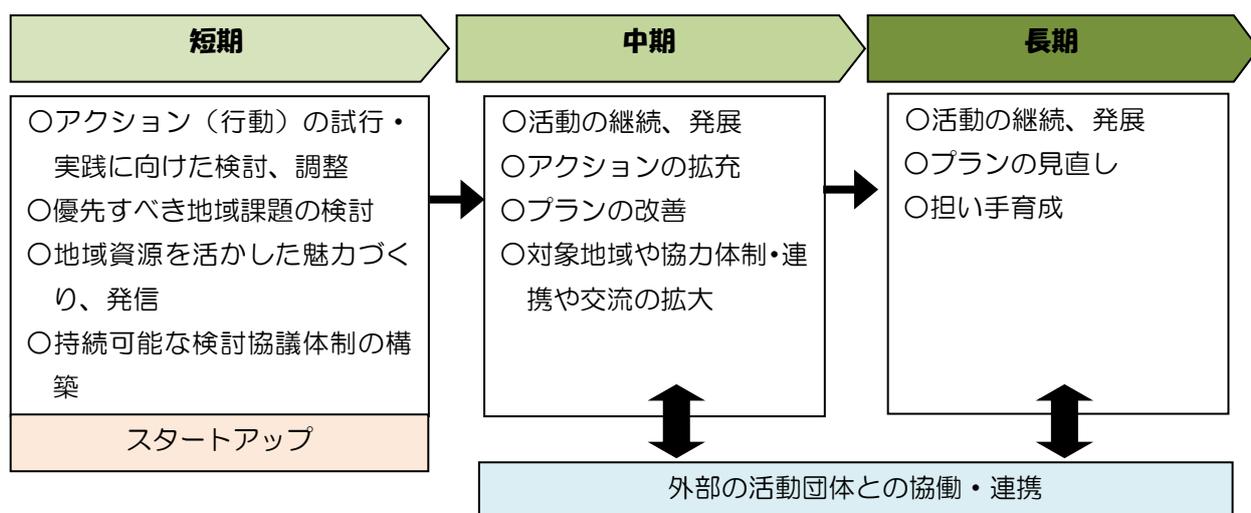
(1) 実現までの道筋・手順

①基本的な考え方

- できることから取り組んでいく
 - ・できそうなところ、実験的な取り組みなど、第一歩をふみだすことが大切です
- 優先順位を決める
 - ・地域の課題解決や活性化に向けて、緊急性のあるものや重要な課題、やりたいことなど優先順位を考えて取り組んでいくことが大切です。
- 体制を整えながら進める
 - ・自分たちだけではなく、各種分野の専門家や関係者などいろいろな人材と協力して取り組むことも重要です。取り組みのパートナー、協力者を募りながら取り組むことでより質の高い取組みが可能になります。
- 相互に連携しながら進める
 - ・現在あるもの、イベントや資源などを活かしながら取り組む、また様々な活動と相互に連携しながら効果の高い取組みを行うことが大切です。
- 段階的に取り組んでいく
 - ・最初からハードルを上げずに、継続的に進める気持ちで取り組むことも大切です。少しずつ段階的に実現化に向けて取り組むこと、そしてそれを持続していくことが重要です。

②短期・中長期の取組み

地域活性の目標や基本的考え方は長期的な視点で、まずスタートアップとして短期的に実践的取組みを行うことや、活動をマネジメントする体制づくりを実践していきます。



(2) 計画の運用、体制づくり

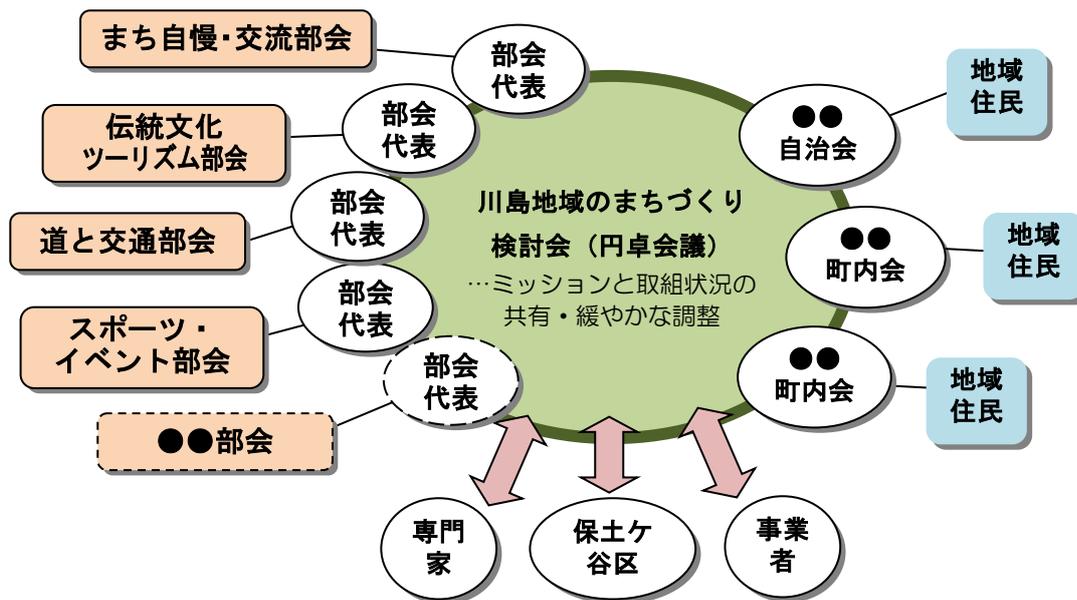
①基本的な考え方

○個々の取り組みをベースに、実行する「部会」をつくる

- ・アクションプランにある各種取り組みを実行していきます。

○各部会の取組みや地域での情報を共有するための連絡調整会議（円卓会議）を設置する

- ・継続的にまちづくりを進めるための各種取組みや地域の状況などの情報共有を図ります。
- ・地域活性を効果的に推進していくため、各種団体との交流を深め、相互の活動の連携を図るものとします。
- ・アクションプランのチェック、地域の意見をまとめて行政等との相談窓口などの役割を担います。



②円卓会議の役割

各組織、団体間の理解、情報共有、交流を深めていくための場として次のような役割をもつものとします。これらについては、互いに負担なくできるところから深化させていくものとします。

- ・保土ヶ谷区川島原地区連合会、川島東部連合町内会、旭区笠町内会の情報交換、交流
- ・部会の活動状況の情報共有
- ・市・区との協議調整の窓口
- ・アクションプランの進行状況の確認や見直し
- ・部会活動が活性化に寄与しているかどうかの確認
- ・地域まちづくり組織とその計画として、持続発展する体制・仕組みづくり

③持続発展する体制

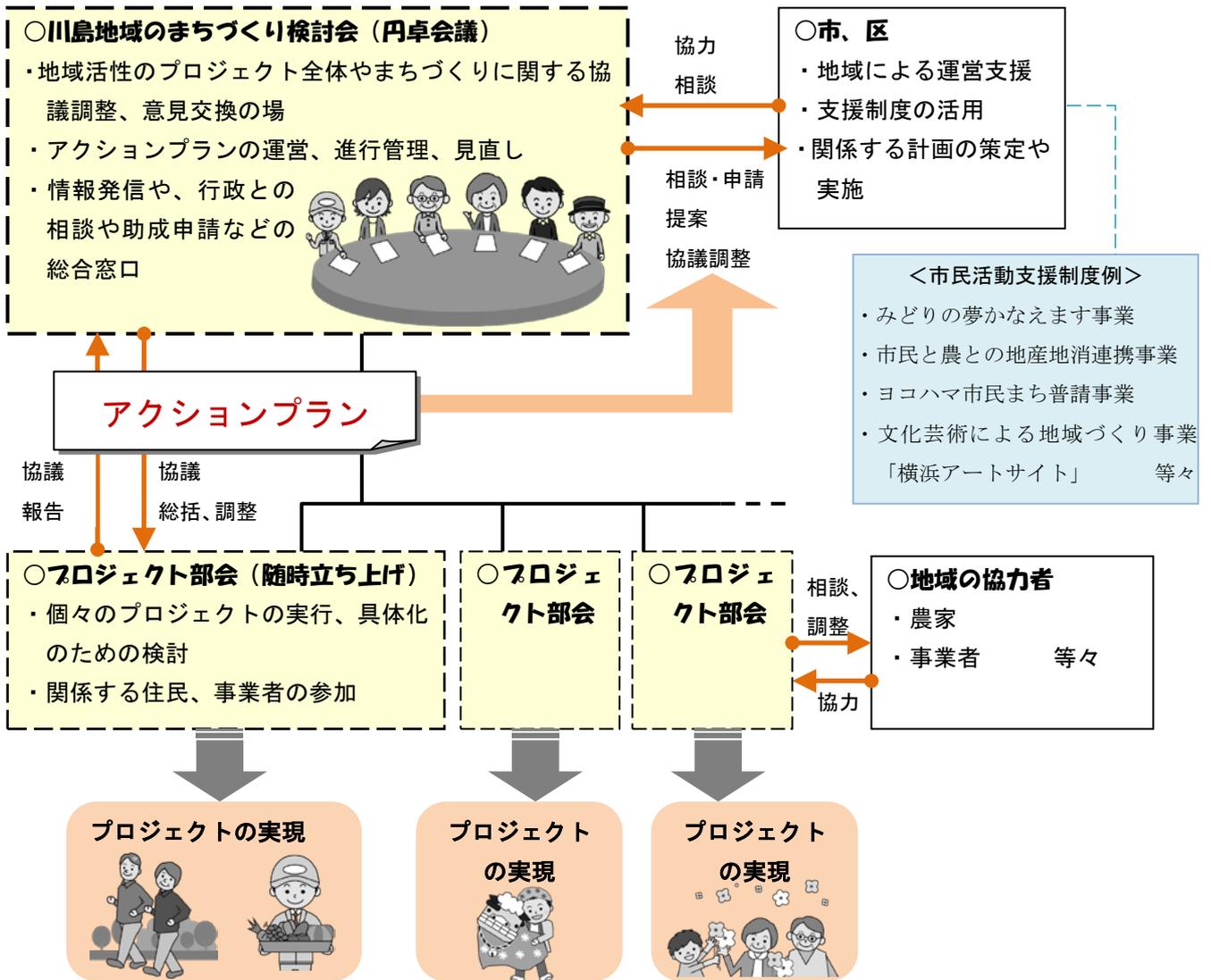
長期的に地域のマネジメントを行う体制として、地域での合意形成を前提に、次のような仕組みの活用も視野に入れつつ、自立する体制づくりを目指します。

- ・地域まちづくりグループ登録・組織認定（横浜市地域まちづくり推進条例）
- ・NPO
- ・まちづくり会社 など

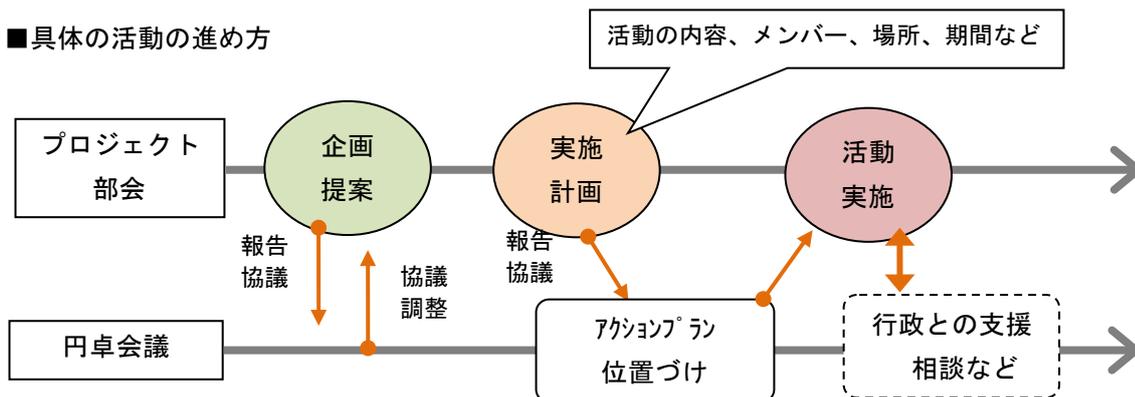
④ 具体の取組みの進め方

- ・原則として、アクションプランに位置づけられた活動を部会が中心となって取り組みます。
- ・部会が中心となって個々のプロジェクトを企画提案し、実行するうえで、アクションプランに位置づけるため、円卓会議の場で報告、情報交換を行います。
- ・実行する活動について、その内容を実施計画として整理し、アクションプランに位置づけ、活動を進めていくこととします。

■ 円卓会議と部会の体制



■ 具体の活動の進め方



⑤平成 25 年度検討会で結成された部会と取り組みの概要

◇まち自慢・交流部会

- ・自治会、地域の活動団体、コミュニティハウスで連携して、地域の自然、農作物、食、防災活動などの「まち自慢」やツーリズムのイベント開催や拠点づくりに取り組み、地域の魅力を広く知らしめ、交流を創出する。
- ・そのために、イベントを契機として各団体が交流・連携して、旧くぬぎ台小学校跡地の校舎・教室を活用して、区民・市民が訪れたい魅力的な施設整備に取り組む。

◇伝統文化ツーリズム部会

- ・川島囃子、笠囃子の活動団体が中心となって、杉山神社や稲荷神社などと連携して、季節行事を通じて区界を超えた交流活動を行い、地域の伝統的な文化芸能を次世代に継承していく。
- ・そのために必要なマップづくりや地域の人名鑑づくり、活動団体が一堂に会するフォーラム等の行事の開催に取り組む。

◇道と交通部会

- ・地域住民が中心となって、交通不便で坂道の多い地域の課題を解消するため、コミュニティバスの運行など地域の道路交通の改善策を提案し、住民も来訪者も安全で快適に移動できるまちにしていく。
- ・そのために、現実的なバスルートや安全な歩行者空間について検討し、地域住民で合意形成して、行政に提案する。

◇スポーツ・イベント部会

- ・地域住民が中心となって、区民・市民のスポーツや健康づくりの交流拠点づくりに取り組む。
- ・そのために、大学やこの地域で起業したい人と連携して、旧くぬぎ台小学校跡地の校庭や周辺の公園、緑地を活用して、スポーツ活動の場の整備や運営のための活動を行う。

検討会では次のような取り組みの意見もありました（主だったものを例示しています）

◇緑・水辺を守り活かす

- 地域の魅力資源を活かした地域の活性化（ツーリズム）
- 森づくりの活動をしたい
- こどもから大人まで楽しめる環境をつくりたい
- 歩ける水辺にしたい
- ホテルや水辺の生き物に親しめる場にしたい

◇道づくり

- 坂道や切通しの道をツーリズムやスポーツに活用したい
- 西谷駅への交通アクセスの改善（バスルートの整備・誘導）
- 学校へのアクセス向上を（通学路の安全）

◇歴史や文化を知り、守り活かす

- 地域の魅力資源を活かした地域の活性化（神社、お囃子など歴史文化資源の活用）
- お参りする人が減っている、地域とのつながりを深めたい

◇住まい・暮らしづくり

- 高齢者の医療介護や見守りなどを向上させたい
- 買物、病院などの生活利便性を向上させたい
- 団地で少子高齢化が進行、次世代を育成したい
- 団地でビオトープ、防災井戸をつくりたい
- 団地再生を検討したい

4. 地域活性に向けた取り組み

○地域活性に向けたプロジェクト提案集

ここでは、検討会のグループ検討で提案したプロジェクト案を、部会の取り組みテーマと合わせて整理しています。

現段階で部会が結成されていないその他のプロジェクト案も、今後、各部会の活動に取り入れたり、新たに部会を立ち上げたりすることで、内容の充実や実現に取り組んでいきます。

表 プロジェクト案と関係部会

番号	プロジェクト案	関係部会			
		まち自 慢・交流部 会	伝統文化 ツーリス ム部会	スポー ツ・イベン ト部会	道と交通 部会 (休会中)
①	ビジターセンター・まち自慢の拠点づくり（学校跡地）	◎	○	○	
②	神社、溪谷、農、歴史を結ぶ	○	◎	○	
③	陣ヶ下溪谷公園プロジェクト	◎	○		
④	農の活用プロジェクト	◎	◎	○	
⑤	買い物ができる・いこえる店づくり（学校跡地）	◎	○	○	
⑥	高齢者と子供の交流・サービス・居場所づくり（学校跡地）	◎	○	○	
⑦	一芸プロジェクト	◎	○	○	
⑧	文化芸能フォーラム	◎	○	○	
⑨	移動支援プロジェクト				◎
⑩	スポーツ・イベント拠点づくり（学校跡地）	○	○	◎	
⑪	陣ヶ下溪谷公園周辺の森づくり	○	○	○	
⑫	くぬぎ台川を整備	○	○	○	
⑬	空き家活用プロジェクト	○	○	○	
⑭	防災拠点として活用（学校跡地）	○	○	○	
⑮	まちづくり推進プロジェクト	○	○	○	

担当部会の「◎」は中心的な担当部会、「○」は連携して取り組む部会を示す。

■アクションプランプロジェクト提案集<まち自慢・交流部会中心>

プロジェクト案	①ビジターセンター・まち自慢の拠点づくり（学校跡地）
方針	・旧くぬぎ台小学校跡地など、既存の資源や公的な場所を活かした「まちあるきツアーの拠点（ビジターセンター）」づくり
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力資源を活かして周辺から人を呼び込む。若い人を呼び込むための魅力づくり。そのための地域の特徴づくりをする ・道の駅のような拠点として学校跡地を利用 ・陣ヶ下溪谷公園までの散策、農業体験の拠点をつくる ・横浜の自然教室として県内に広く知らしめる ・まち自慢の紹介、地域農業 PR 拠点 ・「農」を活用した地産地消コミュニティレストラン、直売ファーマーズマーケット、ワインやジャムづくり体験 ・月に1回、市場を開催するなど、定期的な取組 ・地域向け配食サービス ・何かに限定ではなく複合的に利用する
ともに取り組む人	<ul style="list-style-type: none"> ・全部会メンバー ・川島地域の住民（子供から高齢者までの多世代交流で） ・農友会や農家など（例えば、大工好きな住民など主体は若い人のグループ） ・横浜国大（栄養専門） ・セブンイレブン、相鉄、そのほか募集される事業者 ・コーディネートする NPO（自治会×農家・農協） ・横浜市、大学が支援（費用、技術）
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> ・学校跡地（空き教室、給食室、校庭の活用） ・陣ヶ下溪谷公園 ・団地内の活用もセットで考える（学校跡地だけでは駐車場等が不足するため）
活動内容検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に即売会、市場などを開催 ・バーベキューから始める ・太鼓体験会をやる ・寝泊まり教室をやる、テントから始める ・コーディネートする NPO をつくる（自治会、農家、農協で） ・内容についてはそれぞれ検討する ・地域でローテーションを組む ・元気な高齢者の仕事をつくる ・横浜国大を入れる ・若い人の企業支援をする ・部分的に事業者の公募をする ●家庭科室を利用した展示交流スペース整備 ・パーティションによるコミュニティハウスとの間仕切りの整備 ・産直BBQイベント時の休憩・交流の場としての利用や散策イベントの起終点としての利用 ・コミュニティハウス（施設管理）とまち自慢交流部会（野外学習などソフト事業）の共同事業の検討

●参考事例など

茨城県石岡市柴内朝日小学校跡地「朝日里山小学校」

…学校跡地を農林業・食・工芸体験学習施設、ツアー拠点に活用。

(出典資料：朝日里山小学校ホームページ)

●活動目標

<短期>

①イベント

- ・校舎の一般開放。結論を待たずに一つ一つ進めて住民を巻き込む。
- ・既存の校舎・教室を使い、まち歩きツアーの拠点。もろもろの「まち自慢」の紹介。地域防災拠点としての実績紹介・訓練紹介。
- ・コミハとの共同イベントの開催（スポーツ等）
- ・他の部会や社協、ケアプラザ等と協力して開催するためのイベント運営会議の開催

②食

- ・バーベキュー開催（校庭で。人が集まりやすい）
- ・地元の味教室。先生…お母さん、お父さん、農家さん。
- ・生徒…子ども、若手父母。
- ・食堂、カフェをつくる。土日のみ営業など。

③交流、市・物産

- ・いろいろ集合「市」。農産物。地域の味（調理品）
- ・大規模な直売所をつくる（集約）→イベントで大規模にやる

④ツアー拠点づくり

- ・自然教室で陣ヶ下溪谷のPR、身近な自然の楽しみ方、共存方法を教える。
- ・自然教室等として教室を開放し、拠点としてここから陣ヶ下などに散策できるようにする。プロジェクトで教室主催や他団体利用など。

<中期（2～3年）>

<活用の考え方スタンス>

- ・無理をしないことが大事！！
- ・地域の活動が集合して合同でイベント・交流する
- ・イベントは定期ではなく、何かのイベントを複合的・ゆるやかに！！
- ・担い手の負担感を少なくする工夫（既存の活動の延長にするなど）

①イベント

- ・連合の祭りを学校でやる？
- ・学校施設の活用（インフラ整備）（区民・市民も積極的に出向く魅力ある施設）

②交流、市・物産

- ・他の施設と併せて売店的なものなら可能か
- ・施設運営経費の確保（市から減免額での賃借、利用者に有償貸し出し等）

長期

③交流

- ・学校施設の改造をし、サロンに。
- ・高齢者と子供たちの協力、コミュニティーの場に。
- ・保育園、学童保育の一体化

④ツアー拠点づくり

- ・宿泊施設

<運営体制>

- ・雇用の場（→運営会社）も作る。

●実現化の道筋・手順

④ツアー拠点づくり

- ・平成26年6月に開催したホタル観賞、11月に開催した里山散策などの自然教室を四季プログラムとして継続して、リピーターを呼びこむ。

- ・自然教室は、川名さんが講師をできる。
- ・やれるテーマを出して、やれるものから開催する。

○5～6月、9～10月、3～4月にバードウォッチング

- ・9～10月、3～4月は鳥の渡りの時期

○6月早期にホタル

- ・団地でのホタル観察の時に、一緒にやってみる。
- ・安全とマナーの周知啓発も重要。
- ・遊歩道の整備をボランティアでやってみたらどうか？
- ・団地でのホタル観察には、幅広い年齢で30人位集まった。

○その他の昆虫や植物の観察

○写真教室

- ・団地内に先生がいる。
- ・カメラの使い方教室（屋内）と実習（屋外）を。

<PR>

- ・手始めに、近隣に声かけてPRする。
- ・陣ヶ下溪谷公園に駐車場があるので、区外にもPRして、外部から人を呼び込む。
- ・国大生に参加を呼びかける。（団地の神輿も担いでもらうなど）

●平成27年度の活動スケジュール案

- ・初夏のホタル観賞散策イベントに合わせて、地域の農産物を使ったバーベキューを学校跡地で開催する（候補日H27年6月7日）。

- ・秋は地区社会福祉協議会の芋祭りや芋煮会の合同開催を検討する（候補日H27年11月1日）。

- ・学校跡地をスタートポイントにして散策をして、学校に戻ってデイキャンプする
- ・デイキャンプで④の農の活用プロジェクトと合わせてバーベキューを開催する。
- ・将来は、デイキャンプを泊まりでのキャンプにする。
- ・元々ある地域の企画にくっつけて開催する。

- ・他の部会や社協、ケアプラザ等と協力して開催するためのイベント運営会議の開催

■アクションプランプロジェクト提案集<伝統文化ツーリズム部会中心>

プロジェクト案	<h2>②神社、溪谷、農、歴史を結ぶツーリズム</h2>
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の神社や溪谷、農や歴史文化資源を結び、地域内外の交流を促進する ・地域資源を結ぶルートを設定、地域の魅力や歴史文化を見て学ぶツアー
取り組み	<p>□平成26年度に作成したマップを活用して、神社、溪谷、農園など、地域の魅力や歴史を見て学ぶツアーの開催</p> <p>□遊歩道の整備、案内標識をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの充実（・コンビニにも協力してもらう） <p>□西谷からの交通。来やすい道をつくる（今の都市計画道路ではなく、西谷駅との連絡道路をつくる又はバスで連絡させるなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陣ヶ下溪谷を渡るところを整備する <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>杉山神社</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>松月庵</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>直売所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>陣ヶ下溪谷</p> </div> </div>
ともに取り組む人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア ・地域住民でガイドしている人 ・行政＝遊歩道の整備
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> ・陣ヶ下溪谷公園 ・農地 ・神社・歴史資源
活動内容 検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ●平成27年度の活動案 ・案内標識をつくる ・ガイドになりたい人の募集と育成をする

■アクションプランプロジェクト提案集〈まち自慢・交流部会中心〉

プロジェクト案	<h3>③陣ヶ下溪谷公園プロジェクト</h3>
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・陣ヶ下溪谷公園の魅力を活かし、多様な活動の場となる交流拠点づくりを目指す
取り組み	<p>□公園内でBBQし住民が地域外の人を呼び込み交流を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バーベキュー ・学校跡地の直売ファーマーズマーケットと連携する <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>陣ヶ下溪谷公園の森と広場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>陣ヶ下溪谷公園の近くのやさい直売所</p> </div> </div>
ともに取り組む人	<ul style="list-style-type: none"> ・住民 ・農家
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> ・陣ヶ下溪谷公園
活動内容 検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・PRは行政と協力して、保土ヶ谷区だけでなく隣接区に存在をもっと知ってもらう ・バーベキューが出来る場所を簡単なもので良いので整備する ・農家や直売所と連携する ・公園やその付近でマーケットを開催する ・食材を売ることと、バーベキュー管理を一体的に行う

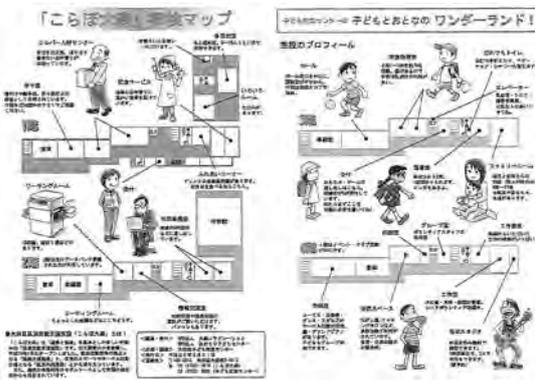
■アクションプランプロジェクト提案集<伝統文化ツーリズム部会中心>

プロジェクト案	<h2 style="text-align: center;">④農の活用プロジェクト</h2>	
方針	<p>□バザールや農業体験などを農家+住民で実施し、広く市民を呼び交流を図る</p>	
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・いもほり等をPRして外から人を呼び込む ・毎月一度くらい日時を決めて大々的に野菜、果物、花などを販売するバザールを開催 ・陣ヶ下溪谷公園の取組とつないで外から人を呼び込む ・コミュニティレストラン 	 <p style="text-align: center;">農園</p>  <p style="text-align: center;">ぶどう畑</p>  <p style="text-align: center;">ガーベラ畑</p>
ともに取り組む人	<ul style="list-style-type: none"> ・農家（個人で経営している） ・農協+ボランティアで ・横浜国大生+農家青年部 	
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> ・農地 ・学校跡地の運動場を活用（バザール） 	
活動内容検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農家から情報提供（イベント等、農家技術のノウハウ、助け合いについて） ・横浜国大生と農家青年部の知恵と労力を活用する ・農協が農地を借りて事業化 ・事業者が利益をとれることが大事 	 <p style="text-align: center;">取組例：特区農園「むじなっくぼ畑」</p>

■アクションプランプロジェクト提案集〈まち自慢・交流部会中心〉

プロジェクト案	⑤買い物ができる・いこえる店づくり（学校跡地）
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日用品など、生活物資が買える場所をつくる
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> □買物に来てもらうための工夫として喫茶コーナーなど、いこいの場もあつらえる □「農」を活用したコミュニティレストラン、ファーマーズマーケット、配食サービスと複合的に店づくりをする
ともに取り組む人	<ul style="list-style-type: none"> ・料理が得意な住民
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> ・学校跡地（1階）
活動内容 検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者の仕事をつくる ・若い人の企業支援をする <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>●参考事例など</p> <p>茨城県久慈郡大子町槇野地小学校跡地 「大子おやき学校」 …学校跡地を地域農産物等活用型総合交流促進施設に活用。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 農産物加工施設（給食室を活用したおやき加工室、体験室） (2) 農産物等直売施設（売店、食堂） (3) 管理施設（事務室） (4) 屋外施設（広場） <p>（出典資料：文部科学省ホームページ「廃校リニューアル50選-12. 大子おやき学校」</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

■アクションプランプロジェクト提案集〈まち自慢・交流部会中心〉

プロジェクト案	⑥高齢者と子供の交流・サービス・居場所づくり（学校跡地）	
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代の交流・サービスの場としての学校跡地活用 	
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○多世代の交流・サービスの場としての学校跡地活用 ・多世代の交流、サロン ・高齢者と子どもがふれあえる活動…一緒に歌や、ものづくり、給食 ○高齢者のケアハウスや困った時にだけ入れる施設、入浴や食事ができる施設づくり ・高齢者のための介護・デイサービス ・健康増進機能：健康遊具、芝生広場などの整備、診療所等 ・高齢者：ダンスの場、料理教室 ○子どもたちが集い、学習・遊び・交流できる場づくり ・子供のための、キッズクラブ、保育機能 ・子育て、見守りの環境づくりを充実させる 	
ともに取り組む人	<ul style="list-style-type: none"> ・業者、地域住民、NPO、行政など多様な主体の連携 ・地区社協 ・元気な高齢者 ・主婦を中心としたボランティア(主婦はいっぱいいる)、地域のお母さん達 ・西川島の保育園 	
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> ・学校跡地（家庭科室、上の階） ・地域の福祉法人の施設も使う ・地区センター 	
活動内容検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の施設の活用を考える ・給食室の活用（ピサ釜づくりなど）など ・校舎の改装。エレベーターつける。 ・高齢者は地域全体を対象を考える ・子供たちに開放できる曜日を定める ・子ども会を復活させる！ ・子ども達を見守る仕事をつくる ・西川島の保育園は満員。地元管理であることが要因になっていることも考慮が必要 ●「ほっとなまちづくり」との合同イベントを検討する ・地域保健福祉計画の活動の場として学校跡地を活用する ・他の部会や社協、ケアプラザ等と協力して開催するためのイベント運営会議の開催 ●参考事例など 	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>●参考事例など</p> <p>東京都大田区大森第六小学校跡地 「区民活動支援施設大森【こらぼ大森】」 …学校跡地を協働支援施設、区民利用施設、子ども交流センター、シルバー人材センターに活用。 (出典資料：「廃校に地域力がはじけるとき」竹内敏・上平泰博（編著）)</p>  </div>		

■アクションプランプロジェクト提案集<まち自慢・交流部会中心>

プロジェクト案	⑦一芸プロジェクト
方針	・教え合いと交流による地域活性化に取り組む
取り組み	□住民がそれぞれ一芸を伝授する取組を地域の随所で実施 ・マイはしづくり、健康体操、陶芸、ケーキづくりなど ・小学校の授業や課外活動で取り上げてもらう
ともに取り組む人	・一芸を持った住民
取り組む場所	・どこでも良い（学校、集会所、公園）
活動内容 検討課題	・一芸を持った住民が、住民に教える。 ・地域の名人名鑑をつくる ・地域でローテーションを組む

■アクションプランプロジェクト提案集<伝統文化ツーリズム部会中心>

プロジェクト案	⑧文化芸能フォーラム
方針	□お囃子や季節行事で、区境をこえて交流する ・若い人に来てもらい継承することが大事。
取り組み	・プロジェクト案②神社、溪谷、農、歴史を結ぶツーリズムと合わせて取り組む (1) お囃子が一堂に会するイベントを開催する (継続) ・祭事で交流する(神楽、どんど焼き、夏祭等) ・夏祭り(盆踊り)を小学校でやる(コミュニティの交流の場にもなる) ・小学校の授業や課外活動で取り上げてもらう (2) 川島町の伝統文化マップを随時改良する
ともに取り組む人	・今ある団体(川島囃子、笠囃子、西谷囃子) ・神社(後援:教育委員会)+ボランティア ・ほどがや☆元気村 ・JA横浜(保土ヶ谷支店) ・地域の農業者、ほどがや★元気村など関係者
取り組む場所	・学校跡地(体育館、校庭) ・杉山神社
活動内容検討課題	・今はそれぞれで活動している団体が集まり、地域行事と合わせて行う →杉山神社のお祭りでお囃子競演を検討する ・太鼓体験会をやる →地域でローテーションを組む →地域の名人名鑑をつくる (1) お囃子が一堂に会するイベントを開催する ＜祭りの候補＞ ・盆踊り(8月)…川島東部連合町内会3か所、川島原地区連合会1か所、旭区笠町内会5か所 ・夏の農業祭 ・秋の農業祭の品評会(11月) ・宿場まつり(10月の連休) (2) 川島町の伝統文化マップづくり ・ボランティアガイドの募集と育成 ・すぐ出来そうな人を地元で探す ・連合町内会会長からのツテや、地区社協で声掛け。 (3) その他 ①くぬぎ台団地周辺での朝市開催 ・川島町周辺の農家(JA農協保土ヶ谷支店の笠・西部・川島支部)で協力して月1回ならば、朝市としての農産物の提供は可能だと思われる。(足立氏) ・過去にも、朝市を開催していたが、売り上げの減などにより終了した経緯もあり、開催に向けては、ニーズの把握を行う必要がある。 ・くぬぎ台団地や周辺地域に協力してもらい、地域アンケートなどを行うことができないか調整、検討を進める。

■アクションプランプロジェクト提案集<道と交通部会中心>

プロジェクト案	<h2>⑨移動支援プロジェクト</h2>
方針	<ul style="list-style-type: none"> 交通不便で坂道の多い地域の課題を解消する
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 交通不便で坂道の多い地域の課題を解消するため、循環バスやコミュニティバスの運行 散策路と案内板設置 西谷駅、16号へ直結する道路づくり 小学校の裏から来られる道の整備をして学校に来やすくする
ともに取り組む人	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 広域的な議論のため、旭区と連携する
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> 帷子川沿いの低地から南の台地上にかけての坂の多い川島町一帯
活動内容 検討課題	<p>●実現化に向けた検討内容（第6回検討会グループ検討成果）</p> <p>①道路拡幅の検討（すぐには難しい） → 双方向難しい道路の一方通行化の検討</p> <p>②小型バス、コミュニティバスの検討 <バスルート案の一つ></p> <p>→ 採算性の検討（地域でのバスの利用者の実態把握など）</p> <p>→ 配車利用や特養のバスと協力の検討</p>

③高低差上下移動の検討

- 小型電気自動車、エレベーター、エスカレーターの検討
- 長崎の事例を参考にする
- 西谷駅周辺のまちづくり協議会の検討資料を参考にする

④道路交通の検討

- 地域交通サポート事業活用
- 現実的なバスルート考える、歩行者通行も考える
- 行政計画への反映

⑤行政計画への反映を念頭におきながら計画とスケジュールを検討する

●実現化の道筋・手順（第7回検討会グループ検討成果）

- ・事例研究、川島地域でつくるとしたらどうかを考える（国大の協力を得る）
（泉区のeバスのノウハウを参考にする（市民にノウハウの話聞く等））
- ・アイデアを一つの案にまとめる
- ・沿道住民や河川管理者と話し合い、地権者との話し合いをする
- ・活動場所は、川島第一町内会の集会所を利用する。

●平成26年度からの活動状況

- ・平成26年5月、勉強会を開始。現在、休会中。

■アクションプランプロジェクト提案集<スポーツ・イベント部会中心>

プロジェクト案	<p>⑩スポーツ・イベント拠点づくり（学校跡地）</p>	
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツで人を呼び込む ・住民の健康づくりもする 	
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ合宿の場に ・市内の小中高を対象にスポーツ合宿の場とする ・スポーツパーク（社会人、高齢者の利用） ○健康づくり ・グランドゴルフの公式グランド整備 ○里山ウォーキング ・まちあるき、山歩き 	 <p style="text-align: center;">旧くぬぎ台小学校グラウンド</p>
ともに取り組む人	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブ協議会（9団体） ・健康体操の会 ・住民、大学と一緒に ・起業を行う若い人のグループ 	
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> ・学校跡地（校庭） ・周辺の緑地、水辺 	
活動内容 検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの活動を続ける ・平日も使えるグラウンドにする <p>●活動目標（第7回検討会グループ検討成果）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①住民のスポーツに対する要望を組み込む（住民アンケートなど） ②身近に歩くイベントを開催する <ul style="list-style-type: none"> ・陣ヶ下溪谷ウォーキングなど ・気軽にできるイベント。ただし、高齢者と若者一緒には難しい。 ③スポーツ・交流部会の立ち上げにふさわしいイベントをする <ul style="list-style-type: none"> ・講師と一緒になど、他とは違う付加価値をつける ・グラウンド利用で行われていない種目をする。 ・マラソン（無理をしない）。 ・参加費は基本無料にする。 ・高校の協力を得る →つながりができる ・横浜FCを呼ぶ、三浦知良を呼ぶ。 <p>●平成27年度の活動スケジュール案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年12月に開催したスポーツ交流イベント「川島ウインターフェスティバル」の第2弾を開催する。（時期未定） 	

■アクションプランプロジェクト提案集<その他>

プロジェクト案	<h2>⑪陣ヶ下溪谷公園周辺の森づくり</h2>
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・陣ヶ下溪谷公園と周辺の自然環境等を一体的に活用・整備し、より魅力的な活動の場としての活用を図る ・森づくりの活動に色々な人に来てもらうことが大事
取り組み	<p>□陣ヶ下溪谷公園内の整備、周辺地区も含めた森づくり</p>
ともに取り組む人	<ul style="list-style-type: none"> ・森を持っている人 ・ボーイスカウト <p>【普段の活動の一環として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO（動植物系を使う集まり） <p>【自然学習の一環として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の自然クラブ ・樹木医 ・中学生
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> ・陣ヶ下溪谷公園 ・周辺も含めた森
活動内容検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・PRは行政と協力して、保土ヶ谷区だけでなく隣接区に存在をもっと知ってもらう ・公園に限らず、森を持っている人でキャンプ場を作る ・ボーイスカウトを呼ぶ（活動場所に困っている団体はある） ・自然学習の協力リストをつくる ・中学生の力を借りて植林、整備を行う ・遊歩道の整備も必要（溪谷を渡るところ等） <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>●参考事例など</p> <p>川崎市多摩区生田緑地と稲田公園、川崎市青少年科学館など</p> <p>「里山の自然学校」</p> <p>…緑地公園などをフィールドとした小学生向けの里山体験や自然観察プログラムの提供。</p> <p>（出典資料：特定非営利活動法人かわさき自然調査団ホームページ）</p> </div>



陣ヶ下溪谷公園の森と広場



■アクションプランプロジェクト提案集<その他>

プロジェクト案	<p>⑫くぬぎ台川を整備</p>	
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然環境の魅力向上 ・快適な回遊空間の形成 	
取り組み	<p>□子どもたちと大人が楽しめるよう整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校裏の川の周辺を明るく整備。 ・川に降りられるような工夫 ・川幅を一部広げて小さい子ども達も安全に遊べるように整備 	 <p style="text-align: center;">くぬぎ台川</p>
ともに取り組む人	<p>【普段の活動の一環として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO（動植物系の素材を使う集まりは？） <p>【自然学習の一環として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の自然クラブ 	
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> ・くぬぎ台川 ・特に小学校裏の周辺 	
活動内容 検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自然学習の協力リストをつくる 	

■アクションプランプロジェクト提案集<その他>

プロジェクト案	<p>⑬空家活用プロジェクト</p>	
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内の空き家を活かした、地域活性、賑わいづくり □人口増加や子どもを増やすために不可欠な、若い世代の入居意欲を高める。 (団地周辺は、調整区域を解除しないと住宅を増やせない) 	
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> □団地の空き家をコミュニティルームにして、独居高齢者対策をする ・ 外から若い人を呼び込むための魅力づくり。そのための地域の特徴づくりをする ・ 空き家をリフォームし、家族で入れるよう、出て行った人が2世代で戻って来られるよう、モデルルームを始めてみる 	 <p style="text-align: center;">URくぬぎ台団地</p>
ともに取り組む人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民 ・ 区、UR 都市機構と相談しながら進めていく ・ 事業者の協力が必要 	
取り組む場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団地 	
活動内容検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の魅力づくり、特徴づくりをする ・ 建物の造りに新しいスタイルを考える（団地の住戸プランでは古く、若い人が入ってこない） ・ どうすればまず利用可能になるか？空き家利用に伴う制約をまず確認する ・ 家賃の問題 ・ 団地の空き家状況など現状を把握して、円卓会議で課題を共有し、活性化について議論していく 	

■アクションプランプロジェクト提案集<その他>

プロジェクト案	⑭防災拠点としての活用（学校跡地）
方針	・ 防災拠点としての活用をする
取り組み	・ 防災井戸掘り、防災キャンプの実施 ・ 防災教育の場を作る
ともに取り組む人	・ 住民により運営 ・ 防災拠点やリーダー＋消防
取り組む場所	・ 学校跡地
活動内容 検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練体験施設にする ・ 電気、水が止まっている学校で防災体験をする（ワークショップ、宿泊体験） ・ 電気を発電する、水の確保などの体験 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>●参考事例など</p> <p>山形県酒田市大字上野曽根上田小学校跡地 「上田コミュニティ 防災センター」 …体育館を講堂にリニューアルし、併設して炊き出し室やコミュニティルームがある防災センターを新築。</p>  <p>（出典資料：文部科学省ホームページ「廃校リニューアル50選-11. 上田コミュニティ防災センター」）</p> </div>

■アクションプランプロジェクト提案集<その他>

プロジェクト案	⑮まちづくり推進プロジェクト
方針	・
取り組み	□資源発掘、育成共助の組織としてNPOをつくり、まちづくり推進の母体とする
ともに取り組む人	・地域でやる気のある人
取り組む場所	・活性化の対象地域
活動内容 検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト単位で組織化する ・地域・エリアごとにやる気のある人を探す ・分野（文化、農）ごとのリーダーに集まってもらう ・個別プロジェクトの人材確保のため、テーマごとに『地域の名人』名鑑を作る

参考) 検討会の開催経緯、参加者リスト

①平成25年度まちづくり川島地域のまちづくり検討会開催経緯

<p>第1回 平成25年7月2日</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 検討会の目標・進め方について2. 地域の魅力を活かした活性化とは 検討成果・川島地域の魅力資源・課題① ・活性化のキーワード①
<p>第2回 平成25年7月31日</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 川島地域の魅力と課題、将来像について2. 将来像についてー5つの視点から・大学からの提案 検討成果・川島地域の魅力資源・課題② ・活性化のキーワード②
<p>第3回 平成25年9月8日</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 地域まちあるき2. 地域資源の活用アイデアの洗い出しワークショップ 検討成果・地域資源の活用アイデアマップ
<p>第4回 平成25年10月12日</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 学校跡地見学2. 取組み案の検討ワークショップ 検討成果・プロジェクト案
<p>第5回 平成25年11月17日</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 具体の取組の検討ワークショップ 検討成果・プロジェクト案2. まちづくりの課題検討ワークショップ 検討成果・まちづくりの重要課題
<p>第6回 平成26年1月11日</p>	<ol style="list-style-type: none">1. プロジェクト別の実行体制検討ワークショップ 検討成果・プロジェクトの実行部会の候補 ・部会別活動目標2. 連絡調整会議のあり方について 検討成果・対象範囲と継続上の課題
<p>第7回 平成26年2月22日</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 「アクションプラン」(たたき台)の目次構成の説明・確認2. これからの活性化対象範囲、活動趣旨、活動体制について3. 部会の活動内容等について 検討成果・今後の活動の趣旨、範囲、体制、内容
<p>第8回 平成26年3月22日</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 「アクションプラン」案の説明・確認2. 部会の活動内容等について

④平成26年度川島地域のまちづくり検討会（円卓会議）及び部会活動実績

円卓会議	
	6月1日（日）13時30分-、於：保土ヶ谷区庁舎202会議室 出席者計20名（地域11名、国大2名、市7名） 陪席者計3名（磯部議員、URDI1名、国大1名）
第1回	6月17日（火）19時-、於：くぬぎ台小学校コミュニティハウス 出席者計20名（地域11名、国大1名、URDI3名、市5名）
第2回	9月16日（火）19時-、於：川島地域ケアプラザ 出席者計24名（地域14名、国大2名、事業者3名、市5名）
第3回	12月16日（火）19時-、於：くぬぎ台団地集会所 出席者計19名（地域10名、国大2名、事業者2名、市5名）
第4回	3月17日（火）19時-、於：川島第3町内会館

部会の活動		日時	場所
まち自慢・交流部会			
1	打合せ	5/11（日）	
2	ホテル観賞会	6/8（日）	陣が下溪谷
3	団地まつり	7/26（土）、27（日）	くぬぎ台団地 四街区公園
4	打合せ	8/6（水）20:00-22:00	くぬぎ台小コミハ
5	里山散策（仮称）下見	8/31（日）	川島地域周辺
6	打合せ	10/8（水）20:00-22:30	くぬぎ台
7	川島さとやま散策に行きましよう	11/23（土）9時-	川島地域周辺
8	川島地域ウィンターフェスティバル	12/7（日）10-12時	くぬぎ台小
9	打合せ	2/10（火）20:00-	くぬぎ台団地
伝統文化・ツーリズム部会			
1	打合せ	5/28（水）	松月庵
2	JAとの顔合わせ	7/25（金）13:00-14:00	JA横浜 保土ヶ谷支店
3	夏まつりで川島ばやし演舞	7/26（土）18:30-	くぬぎ台団地 四街区公園
4	打合せ（マップ検討）	8/5（火）19:30-21:30	松月庵
5	川島ホームで川島ばやし演舞	8/16（土）18:00-	川島ホーム
6	杉山神社祭礼で川島ばやし演舞	8/23（土） 8/24（日）	
7	マップづくりに向けたまち歩き	9/6（土）9:00-	川島地域
8	打合せ	10/9（木）19:00-21:00	川島杉山神社社務所
9	打合せ	11/10（月）9:00-	JA横浜保土ヶ谷支店
10	農業祭で川島ばやし演舞	11/23（日）	JA横浜保土ヶ谷支店
11	川島ウィンターフェスティバルでの野菜直売	12/7（日）10-12時	くぬぎ台小
12	打合せ	12/20（土）	松月庵
13	「どんど焼き」（町会主催）で川島ばやし演舞	1/12（月・祝）14:00-	杉山神社境内
14	打合せ	2/12（木）19:00-21:30	松月庵

15	お稲荷さん巡りミニガイドツアー	3/15 (日) 9:00-12:00	川島地域
道と交通部会			
1	打合せ	5/29 (木)	
2	打合せ	7/8 (火) 18:00-20:00	川島小学校
3	打合せ		
スポーツ・イベント部会			
1	打合せ	4月末	くぬぎ台小コミハ
2	打合せ	8/9 (土) 19:00-21:00	くぬぎ台小コミハ
3	打合せ	9/6 (土) 19:00-	くぬぎ台小コミハ
4	打合せ	10/4 (土) 19:00-	くぬぎ台小コミハ
5	打合せ	11/8 (土) 19:00-	くぬぎ台小コミハ
6	打合せ	11/23 (日) 14:00-	くぬぎ台小コミハ
7	川島地域ウィンターフェスティバル	12/7 (日) 10:00-12:00	くぬぎ台小グラウンド&体育館
8	打合せ	3/14 (土) 19:00-	

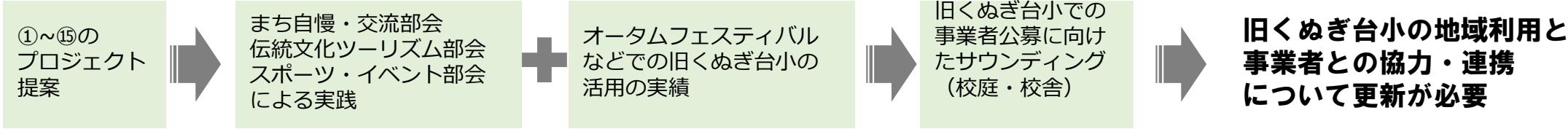
「川島地域のアクションプラン」の更新と 旧くぬぎ台小学校の利活用の検討

まちづくりの
取組み方針

- (1) 地域で受け継がれてきた、緑、水辺、農、歴史文化、学校跡地を活かし、育てる
- (2) 大人も子どもも集い、ともに楽しめる場や活動をつくる
- (3) この地域での暮らしの豊かさを広く知らしめる（『まち自慢』する）
- (4) 若い世代を呼び込み、まちを次世代に受け継いでいく
- (5) これらの活動の前提として、住民の「安全・安心」や「快適な日常生活」のための課題解決にも取り組む
- (6) (1) から (5) の実現のために、皆（住民、川島地域の活性化に関連する団体、事業者、個人）で策を考え、提案し、行動する

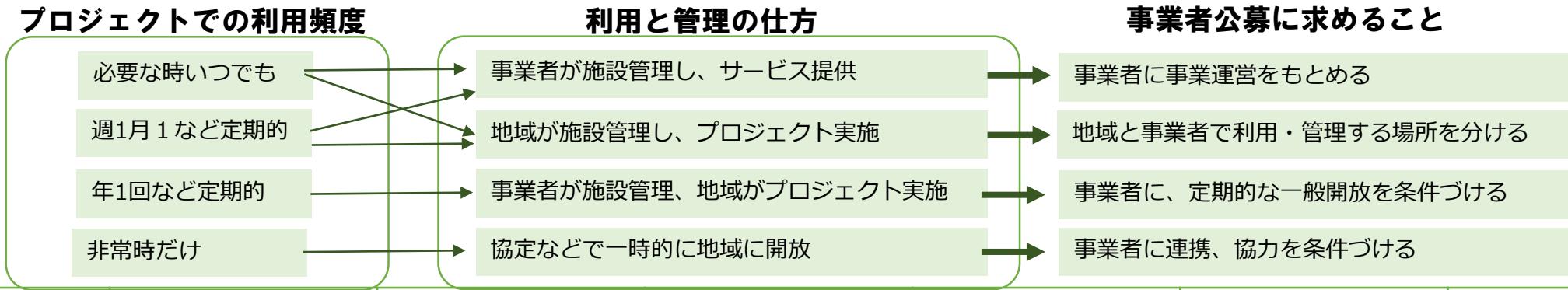


地域活性
に向けた
プロジェクト



旧くぬぎ台小を利用する地域活性プロジェクトと学校跡地の地域意向の整理

学校跡地の
利用と管理



プロジェクト名	①ビジターセンター・まち自慢の拠点づくり	④農の活用プロジェクト	⑤買い物ができる・いこえる店づくり	⑥高齢者と子供の交流・サービス・居場所づくり	⑧文化芸能フォーラム	⑩スポーツ・イベント拠点づくり	⑭防災拠点としての活用
利用場所	・空き教室、給食室 ・校庭	・校庭	・校舎1階	・家庭科室 ・校舎2~4階	・体育館、校庭	・校庭	・全体
学校跡地での活動アイデア	・展示交流スペース整備 ・定期的にバザールや体験会 ・コーディネートするNPO活動 ・元気な高齢者の仕事づくり ・若い人の起業支援	・月一度くらい野菜、果物、花などのバザール ・コミュニティレストラン	・日用品など生活物資が買える場づくり ・喫茶コーナーなど、いこいの場づくり ・「農」を活用したコミュニティレストラン、ファーマーズマーケット、配食サービス	・多世代交流、サロン ・高齢者介護・デイサービス ・健康遊具、芝生広場などの整備 ・診療所等 ・高齢者ダンス、料理教室 ・キッズクラブ、保育 ・子育て見守り環境づくり	・お囃子が一堂に会するイベント開催 ・朝市開催	・市内の小中高を対象にスポーツ合宿 ・スポーツパーク（社会人、高齢者の利用） ・グランドゴルフの公式グランド整備	・防災井戸掘り、防災キャンプの実施 ・防災教育の場を作る
活動体制づくりのアイデア	・まち自慢・交流部会中心 ・地域住民※ ・事業者 ・大学	・伝統文化ツーリズム部会中心 ・農家、農協、ボランティア	・まち自慢・交流部会中心 ・地域住民※	・まち自慢・交流部会中心 ・社協 ・地域住民※ ・地域の福祉法人	・伝統文化ツーリズム部会中心 ・川島囃子、笠囃子、西谷囃子 ・神社 ・農家、農協	・スポーツ・イベント部会中心 ・スポーツクラブ協議会（9団体） ・健康体操の会	・地域住民 ・防災拠点リーダー ・消防
校舎の利用と管理	地域と事業者の連携を目指し、今後検討していく						
事業者公募に求めること							